

2026～2027 SHIKI WEEKLY

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ



持続可能な
インパクトを
生み出そう

志木ロータリークラブ

2026-27年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキム・ハバロラ 「CREATE LASTING IMPACT」
2026-27年度 第2570地区 ガバナー 原島 生慈 「ロータリー活動に誇りを！」
2026-27年度 志木ロータリークラブ 会長 國分 学 「志木 SHIKIプライド」

第2472回 例会

2026-7-1

- ◎司会 末富 啓道 副会長
- ◎点鐘 國分 学 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 三上 隆俊 副SAA
- ◎四つのテスト 三上 隆俊 副SAA

「引継式」



例会に先立ち、金剛光裕前会長から國分学会長に、吉原正前副会長から末富啓道副会長に、塩野章前幹事から影山和良幹事に、タスキ、バッジの引継ぎがおこなわれました。

「会長挨拶」 会長 國分 学

ようやく20年目にして、会長が回ってきました。幾分か緊張しておりますが、新しいメンバーが来るという事も含めて、とても嬉しく思っております。この後会長アワーがありますので、そこでたっぷりとお話させていただきますので、この後は新会員の入会式という事でよろしく願います。



「理事会報告」 会長 國分 学

- 1) 7月15日(水) ガバナー補佐訪問の件
新座ロータリークラブの松岡ガバナー補佐が来訪
- 2) 7月22日(水) イニシエーションスピーチ
鵜頭会員、井口会員、佐藤名誉会員の3名
- 3) 7月29日(水) ガバナー公式訪問
原島生慈ガバナーが来訪
- 4) 小諸ロータリークラブとの納涼合同例会
8月5日(水)に開催、詳細は追ってメール等で連絡します
- 5) 神山昌之会員の出席免除について
理事会で承認されました
- 6) その他
新会員の入会について後日ご連絡いたします

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

「入会式」 会長 國分 学

國分会長よりバッジとネームプレートの授与が行われました。



井口隆志新会員(左)と鵜頭誠新会員(右)

鵜頭新会員

中小企業診断士・行政書士の鵜頭と申します。事業所は本町5丁目にございます。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

井口新会員

7月より入会させていただきました井口と申します。地元の企業として志木市の発展のために微力ながら尽くしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

「委員会報告」

●青少年奉仕委員会 委員長 西川和人



青少年奉仕委員会の西川でございます。来る7月18日(土)、敷島神社の祭礼の日に、志木市青少年育成市民会議主催で啓蒙活動を行います。当日は薬物乱用防止のためのティッシュを配りますので、ご協力をお願いします。

●親睦活動委員会

「今月の誕生日祝」 親睦活動委員 戸國大介



誕生日会員の紹介



4日 田幸御加会員 5日 爲井公拓会員
9日 山形碧会員 10日 清水良介会員
14日 深澤好文会員 27日 内山雄二郎会員

「誕生日スピーチ」 田幸御加 会員



誕生日プレゼントありがとうございます。なるべく頑張って今年も出るようにしますので、よろしくお願いします。

「卓 話」

「会長アワー 『志木 SHIKI プライド』」

会長 國分 学

本日からいよいよ、2026・2027 年度の新しいロータリーイヤーがスタートいたします。伝統と誇りある志木ロータリークラブの第 55 代会長という大役を仰せつかりました、國分学です。

本日は 7 月 1 日、栄えある第 2472 回の例会、そして役員就任式です。この場に立ち、皆様の前に進み出ますと、歴代会長が繋いでこられたバトンの重み、そして課せられた責任の重大さに、改めて身の引き締まる思いでいっぱいです。

まずは、昨年度のクラブを力強く牽引し、素晴らしい成果を残してくださった金剛光裕直前会長、吉原正副会長そして塩野章幹事をはじめとする役員・理事、委員長の皆様の一年間のご尽力に、心から敬意と感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、年度のスタートにあたり、まずは皆様に我がクラブの現状と、これからの希望についてお話ししなければなりません。

今年度のスタートを迎えるにあたり、残念ながら 3 名の頼もしい仲間が退会されることとなりました。長年クラブを支えてくださったお仲間の退会は寂しく、非常に残念なことです。

しかし、ロータリーの歯車は止まることなく回り続けています。本日この記念すべき日に、新しく 2 名の素晴らしい仲間をお迎えすることができました。心から歓迎いたします。

我がクラブの今年度の活動計画書をご覧ください。高橋良委員長 率いる会員増強委員会が「会員純増 3 名」という目標を掲げております。スタート段階で 2 名をお迎えし、さらに現在も複数の入会候補者の方々とお話をさせていただいております。そうした皆さんの熱意と地域の繋がりを見渡しますと、この「純増 3 名」という高い目標も、決して夢物語ではなく、すでにしっかりと目の前に見えてきているのではないかと、大変心強く感じております。全員で新しい仲間を温かくサポートし、さらなる活力をクラブに注ぎ込んでまいりましょう。

次に、今年度のロータリーが目指す世界的な方向性と、私たちの地区の方針について共有いたします。

2026・2027 年度の国際ロータリー (RI) 会長であるオンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、今年度のテーマとして、

『持続可能なインパクトを生み出そう (CREATE LASTING IMPACT)』を掲げられました。

ババロラ会長は、「変化は始まりに過ぎない。その変化を積み重ねて、地域社会や人々の心に、未来へ長く残る『インパクト (持続可能な良い結果)』をもたらすことこそがロータリーの真の価値である」と語っています。

この世界的なテーマを受け、私たちが所属する第 2570 地区の原島生慈ガバナーは、地区活動方針として、『ロータリー活動に誇りを！』を掲げておられます。

私たちは毎週のように例会に集まり、奉仕活動を行っています。しかし、その活動が当たり前のルーティンになってはいないでしょうか。原島ガバナーは、「私たちのいかなる小さな歩みも、必ず社会のどこかで誰かの役に立ち、持続可能なインパクトをもたらしている。まず自らがその価値を再認識し、ロータリアンとしての誇りを持って背中で語ろう」と呼びかけておられます。

さらに、今年度は 2024・25 年度の五十幡年度から始まった「3 カ年ローリングゴール (3 年間の継続目標)」の最終年度でもあります。私の年度で終わるのではなく、次の五十嵐敦子ガバナーエレクトの年度、そしてその次へと、志木ロータリークラブの誇りと歴史を「持続可能」な形で繋いでいくことが、今年度の私たちの大きな使命です。

では、この「持続可能なインパクト」と「ロータリーへの誇り」を、私たちの志木ロータリークラブにおいてどのように体现していくか。

私は、ロータリークラブの本質とは、職業を異にする大人たちが集まり、お互いの人生や哲学から学び、人間として成長していく「人間塾」であると考えております。私自身、仕

7 月は「母子の健康月間」です

事の重圧や経営の悩みに直面したとき、例会で先輩方が何気なくかけてくださった温かい一言、示してくださった背中に、幾度となく救われ、前を向く力をいただけてきました。

この志木という街で、素晴らしい仲間と出会い、共に奉仕ができる喜び。この我がクラブが持つ素晴らしい価値を再認識し、今年度の志木ロータリークラブの会長テーマを次のように決めました。

『志木 SHIKI プライド』

皆様の心にある「志木ロータリーの一員であることのプライド」を胸に、行政、企業、大学、そして地域社会から心から頼りにされる持続可能なクラブを、皆様と共に創り上げていきたいと考えております。

この『志木 SHIKI プライド』を具現化するために、今年度は具体的な「3つの柱」に挑戦してまいります。

第一の柱は、「官・民・学との連携」です。地域課題が複雑化する現代において、当クラブが行政・民間企業・大学をつなぐ「結節点」「中核組織」となります。今年度は星野博之委員長 率いる戦略計画委員会の中に若手メンバーを中心に配し、未来に向けた大型イベントの企画など、地域に大きなインパクトを与える新しい挑戦をスタートいたします。

第二の柱は、「第2グループの牽引とガバナー輩出への基運醸成」です。我がクラブは50名規模の非常に機動力の高いクラブです。この強みを活かし、第2グループ内での存在感を高めるとともに、将来的なガバナー輩出に向けたクラブ内の機運と環境づくりを進めてまいります。かつてクラブが直面した様々な困難をも、互いを許し合い、円満に解決してきた先輩方の「懐の深さ」こそが、私たちの最大の誇りでありプライドです。

第三の柱は、「時代に合わせた組織の活性化と例会への回帰」です。

完全ペーパーレス化による業務の効率化や、新会員の退会を防ぐためのカウンセラー制度の導入など、現代の多様な働き方に合わせた画期的な改革を進めます。

そして、この「組織の活性化」において、今

年度皆様に最もお伝えしたい重要な変更があります。それは、「例会を週に1回、本来のペースに戻す」という決定です。

皆様それぞれに本業があり、大変お忙しい日々を送られている中で、例会の頻度を週1回に戻すことは、スケジュール管理や時間の面において、少なからず皆様の「ご負担」になってしまうであろうことは、私も重々承知しております。

しかし、「ロータリーは例会で始まり例会で終わる」と言われるように、顔を合わせる頻度こそが、私たちの絆を深める何よりの土台です。だからこそ、今年度、私と役員一同は、ただ義務感で出席する例会ではなく、「今週もまたあの場所に帰りたい」「仲間会いたい」と思える、『来なくなる例会、行きたくなる例会』を目指し、卓話や親睦の質を高めるために全力を尽くす所存です。皆様の貴重な1時間が、ビジネスの活力となり、人生の豊かさとなるよう、役員一同努力してまいりますので、何卒この週1回ペースへの回帰にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、お手元の「年度計画書」の35ページ以降にございます、「年間例会予定表」をご覧ください。このスケジュールに沿って、各委員会が連動した今年度の具体的な動きを確認させていただきます。

週に1回に戻すということで今年度はすべてのスケジュールを決定させていただきましたので皆様の予定に合わせていただければ幸いです。

・ 7月・8月（立ち上がりと親睦） 今月末の7月29日には、原島生慈ガバナーをお迎えしての「ガバナー公式訪問・クラブ協議会」という大舞台が控えています。当クラブの『志木 SHIKI プライド』をガバナーにしっかりと見ていただけるよう、全員出席で臨みましょう。また、8月5日には、昭和49年以来の深い絆で結ばれた姉妹クラブである「小諸ロータリークラブ」との夜間合同例会を予定しております。次の日は有志でのゴルフも予定しております。

・ 9月・10月（地域奉仕と地区大会） 9月

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

24 日（土曜日）には、白井義尊委員長 率いる社会奉仕委員会の大きな柱である「川と街をきれいにする運動」が予定されています。また、10 月 11 日には秩父での地区大会がありますので、当クラブからも大勢で駆けつけ、地区内での存在感を示してまいりましょう。

・ 11 月・12 月（ロータリーデーと親睦の深化）12 月 17 日には、鈴木忍委員長率いる親睦活動委員会のプロデュースによる「親睦夜間クリスマス例会」、

・ そして12 月 19 日には戦略計画委員会の企画による「クリスマスロータリーデー」を開催します。場所は埼玉りそな銀行の前の東町ふれあい公園で開催します。志木市、志木街づくり会社と協力し、会員だけでなく地域ボランティアも巻き込んだ温かい親睦の場を作ってまいります。

・ 1 月～4 月（新年のスタートと伝統の継承）1 月 21 日には新年会を兼ねた

・ 移動夜間例会、3 月 17 日には「ロータリーの森清掃」の移動例会、

・ そして4 月 14 日の夜間親睦例会へと予定しております。

・ 5 月・6 月（年度の集大成へ）5 月 26 日には「献血運動」を埼玉りそな銀行前で実施し、6 月 6 日から 8 日にかけては、皆様が楽しみにしている「親睦旅行」を予定しております。そして6 月 24 日、この一年間の素晴らしいインパクトを振り返る「最終例会」へと向かってまいります。

このように、ただ日程をこなすのではなく、高嶋英一委員長 のプログラム委員会、神山威仁委員長 のクラブ会報委員会など、すべての特定委員会が手を取り合い、デジタル化や業務効率化を進めながら、毎週の例会を魅力的なものへとデザインしてまいります。

最後になりますが、この盛りだくさんで挑戦的な年間計画書は、私一人の力では一枚の紙クズに過ぎません。

本日ここに並びました、副会長の末富啓道さん、幹事の影山和良さん、会計の荻野光一さん、会場監督の塩野章さんをはじめとする役員・理事の皆様、そして何より、本日新しく加わった仲間を含む 50 名の会員の皆様

お一人おひとりの知恵と、経験と、行動力が合わさって初めて、この計画書に命が吹き込まれ、志木の街に『持続可能なインパクト』をもたらすことができます。

週 1 回の例会という皆様からいただく貴重なご負担を、それ以上の大きな「誇り」と「喜び」、そして「ビジネスや人生の糧」としてお返しできるよう、私は今年度、会長として誰よりも率先して汗をかき、行動していく覚悟です。

この 2026-2027 年度が、志木ロータリークラブの歴史において、全員が笑顔でプライドを語り合える素晴らしい飛躍の一年となるよう、皆様の温かいご指導、ご鞭撻、そして多大なるご協力を心よりお願い申し上げます。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



●出席報告 出席向上委員会 榎本秀夫
会員数 49 名 出席義務者 48 名 免除者 1 名
6 月のメイクアップ 6 月の平均出席率
17 名 85.37%